

2015年4月20日

株式会社日立システムズ

公共機関におけるオープンデータの公開基盤整備を支援する 「オープンデータポータルソフト」のクラウドサービスを販売開始

コミュニケーション機能、検索機能、一括登録機能など利便性を向上させる機能も追加

株式会社日立システムズ(代表取締役 取締役社長:高橋 直也、本社:東京都品川区/以下、日立システムズ)は、官公庁や自治体などの公共機関におけるオープンデータの公開基盤整備を支援する「オープンデータポータルソフト」のクラウドサービスを本日から販売開始します。

また、クラウドサービスの開始にあわせて「オープンデータポータルソフト」の機能を強化し、コミュニケーション機能、検索機能の向上、一括登録機能などユーザーにとってより使いやすい機能が充実しました。

近年、オープンガバメントと呼ばれる「インターネットを活用して政府を国民に開かれたものにしていくための取り組み」が世界で注目されています。日本においても、政府や官公庁・自治体などが保有するさまざまな情報を二次利用しやすい形で無償公開する「オープンデータ」と呼ばれる取り組みが推進されています。オープンデータを推進することにより、行政の透明性と信頼性の向上、行政への国民参加と官民協同の推進、新サービスやビジネスの創出による経済の活性化などをめざしています。

たとえば海外では、不動産価格に加えて、公共機関から公開された教育環境データや医療環境データなどの情報を不動産業者や一般消費者へ分かりやすく提供する不動産情報サービスや、気象データや農地の標高、過去60年の収穫量、水分量などの情報を基に地域や作物ごとの収穫被害発生確率を予測し、被害発生時の収入を保証する農業保険を展開するサービスなど、オープンデータを活用したビジネスが立ち上がっています。

こうしたなか公共機関では、オープンデータの推進に取り組んでいますが、オープンデータを単にWebサイトに掲載するだけでは利用者が目的のデータを効率良く探すことが困難であることから、データを容易に検索・利活用できる公開基盤整備に着手しています。公開基盤としてCMS(コンテンツマネジメントシステム)や、外部団体が提供する共同サイトを利用する方法などがありますが、公開するデータの拡充が進み、より地域のニーズや課題にマッチした取り組みが求められるようになると、多彩な検索機能や、利用者のニーズ、利用状況を把握する機能などを有するデータカタログサイトの導入が必要になります。

日立システムズでは、データカタログサイト構築用ソフトウェアとして世界でデファクトスタンダードとなりつつあるCKAN*1の優れた機能を日本で使いやすくするための機能を盛り込んだ「オープンデータポータルソフト」を2014年10月から提供してきました。このたび、お客さまから寄せられた要望や意見を基に「オープンデータポータルソフト」の機能を強化するとともに、「オープンデータポータルソフト」のクラウドサービスを販売開始します。「オープンデータポータルソフト」のクラウドサービスは、「オープンデータポータルソフト」と同じ機能を、月額費用方式で提供するサービスです。

本サービスを利用することで、利用者にとって使いやすいデータカタログサイトを短期間(最短5日)かつ安価な導入費用、月額費用で導入することができます。

また、クラウドサービスの開始にあわせて、「オープンデータポータルソフト」の機能強化を図りました。たとえば、データ公開者とデータ利用者の双方向で利用ができるコミュニケーション機能により、データ利用者がどのようなデータに関心を持っているか把握できるようになり、データ利用者の意見を反映したサイト運営が可能となりました。また、検索機能では、検索ワードと条件をアイコンで分かりやすく表示するように変更したほか、検索ワードを順々に増やしながら段階的にデータを絞り込むことが可能となりました。さらに、従来は、一件ずつでしかデータを登録できなかったものを、複数のデータを一括して登録できる一括登録機能を追加しました。

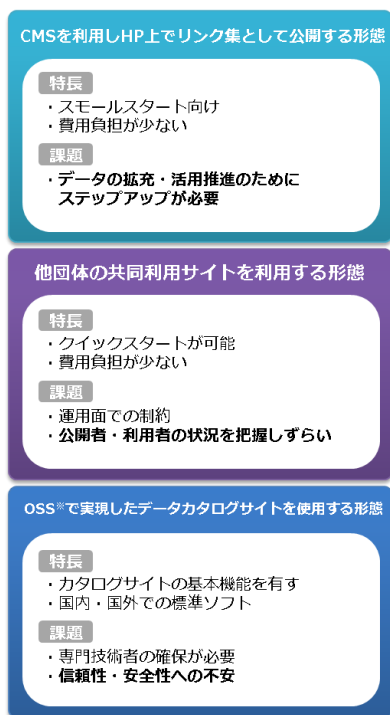
日立システムズは、オープンデータの推進に貢献するため、今後もお客さまの声を取り入れ、さらなる機能拡充や利便性向上に取り組めます。

日立システムズでは、日立グループが提供するオープンデータソリューションのラインアップの一つとして、導入型およびクラウド型の本サービスを拡販し 2019 年までに累計 21 億円の売上をめざします。

*1 CKAN: イギリスの非営利団体 Open Knowledge Foundation が開発したオープンソースのデータカタログサイト構築用ソフトウェア(データカタログシステム)であり、データの公開、共有、検索などの機能を備えています。イギリスの Data.gov.uk をはじめ、世界各国の政府オフィシャルサイトが CKAN を使用して構築されており、データカタログサイト構築用ソフトウェアのデファクトスタンダードとなっています。

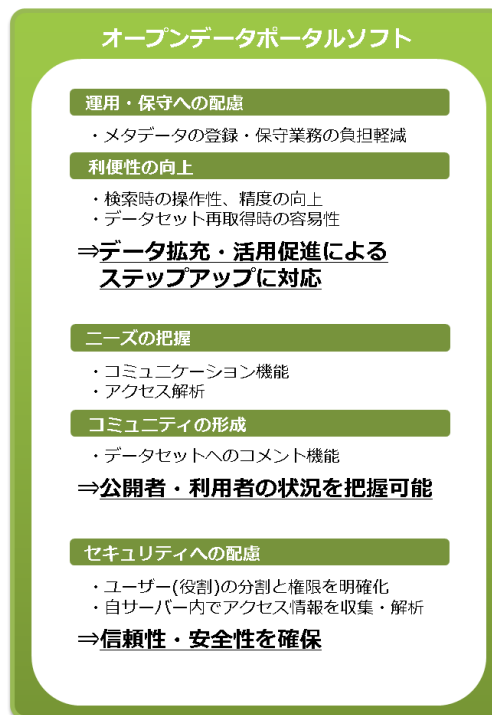
■オープンデータ公開基盤の比較

【自治体の現在のデータ公開の方法】



課題
解決

【オープンデータポータルソフトによるデータ公開】



■画面サンプル

データ公開者



● 公共団体の運用に配慮した、データ公開者向け画面

Q: データの追加・修正は誰でも実施可能ですか?

A: 管理者(システム・組織・データ)と利用者の役割分割が可能です。サイト運営を専門部署、データ管理を各原課で行うことが可能です。

Q: 職員の異動や組織変更時にデータのメンテナンスが大変では?

A: 修正内容を記載したExcelファイルを取り込むことが可能です。または、画面から修正対象のデータを選択し一括で修正する方法があります。初期構築時など、まとまった数のデータの登録・修正時の負担を軽減します。

データ利用者



● 視覚的な工夫などで、使いやすさ、探しやすさを追求

ニーズの把握、コミュニティの形成

データ公開者とデータ利用者の双方向で利用できるコミュニケーション機能や、サイトの利用状況の分析機能を実装。コミュニティを形成し、ユーザーのニーズを把握することでオープンガバメントの推進を支援します。



Q: 自分が何の条件で検索しているか、分からなくなることがあります。

A: 一般の利用者にも使いやすいように、検索ワードと条件をアイコンで表示しています。視覚的に表現することで使いやすさを向上しています。

Q: 目的のデータを探すまでに、何度も検索をやり直してしまいます。

A: 検索ワードを順々に増やしていき、段階的にデータを絞り込んでいくことが可能です。また、検索ワードのアイコンを消すことで、途中の条件を外すことができます。

■価格(税抜)

「オープンデータポータルソフト」のクラウドサービス

初期導入費用 :300,000 円

月額利用料 :137,000 円から

※月額費用には以下のサービスが含まれます。

- ・パッケージライセンス
- ・クラウド基盤利用料
- ・システム運用サービス
- ・バージョンアップ版提供サービス

その他オプションサービスについては個別見積もりです。お気軽にお問い合わせください。

■日立の「オープンデータソリューション」に関する Web サイト

<http://www.hitachi.co.jp/app/opendata/>

■「オープンデータソリューション データカタログサイト導入サービス」の Web サイト

<http://www.hitachi-systems.com/solution/s0306/data/index.html>

■お客さまからのお問い合わせ先

商品お問い合わせ窓口 : TEL 0120-346-401(受付時間:9時~17時/土・日・祝日は除く)

お問い合わせ Web フォーム : <https://www.hitachi-systems.com/>

■報道機関お問い合わせ先

株式会社日立システムズ

CSR 本部 コーポレート・コミュニケーション部 [担当:杉山、住川]

〒141-8672 東京都品川区大崎一丁目2番1号

TEL:03-5435-5002(直通) E-mail:press.we@ml.hitachi-systems.com

以上

*記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。